

# 架け橋

～広域紋別病院だより～



## 目次

1. 表紙（カニの爪）
2. 巻頭言
3. 診療部から（総合診療科）
4. 医療技術部から（リハビリテーション係）
5. 看護部から（1年間を振り返って成長できたこと）
6. 病院で働く専門職（医師事務作業補助者）
7. 健康レシピ（栄養指導係）
8. 3・4月から着任した医師の紹介・職員の募集について・編集後記

### 病院理念

みなさんと心をひとつに、互いに尊敬と感謝の気持ちを共有し、笑顔の医療を提供します。

- 常に、質の高い医療を安全・確実に提供します。
- 生命、人としての尊厳を敬い、心のかよう医療を提供します。
- 人材の育成に努め、働く喜びを共有できる環境づくりを進めます。

## 巻頭言

～ ごあいさつ ～



企業長 及川 郁雄

この度、院長を退任し企業長に就任致しました。

道立病院時代を含めると20年弱に渡り地域医療の最前線に立ち続けてきました。

この間、初期臨床研修制度、国公立大学の独法化に付随する医師引き上げ等、地域医療に対する逆風を諸に受けてきましたが、職員の努力と地域の皆さんの理解により何とか乗り切ることができました。改めてお礼申し上げます。

平成23年4月1日、道立紋別病院は西紋の自治体が運営する広域紋別病院に生まれ変わりました。

覚えていますか？その3週間前に東日本大震災があり、日本中が悲しみと混乱の真最中にあった時に我々の第一歩が記されたことを。

以来数年、患者数・収益とも順調に増加しています。

平成27年4月には新病院に移転しました。

患者さんに快適な環境と最新の医療機器を駆使することで、これまで以上の良質な医療をご提供できているものと信じています。

一方で、新たなシステムに付随するコスト増から経営が圧迫されていることも事実であります。

職員、地域の皆さんと力を合わせて改善に取り組んでいきたいと思っております。↗

さて、私たちの立ち位置は、地域のニーズにあった医療を提供することであり、さらに医療のみならず地域の保健・福祉機関と連携し、人が生まれ、育ち、働き、余生を楽しむという人生の流れのなかで、「健康」という問題をしっかりとサポートすることです。

古いCDの中に、院長に就任した際に投稿した巻頭言を見つけました。

我ながら青臭い内容で身が竦む思いですが、中に中国の古典から引用した一文がありました。

「大医は国を治し、中医は人を治し、小医は病を治す。」、国を支えるという大それた存在では毛頭ありませんが、地域の人を治し・癒し・支える存在には成りたいですね、と結んでいました。

今もその気持ちに変わりありません。

そして、職員の皆さんにもこの思いを引き継いで頂きたいと願っております。

地域の皆様におかれましてもこうした私たちの心構えを見守って頂きたく存じます。



## 診療部から

### ～ 総合診療科から ～ 「かかりつけ医」の意味って なんだろう



総合診療科診療部長 阿部 浩史

はじめまして。総合診療科の阿部浩史(あべこうじ)と申します。

今年4月から紋別生活2年目です。地域の健康をサポートするため、今年も頑張ります。

総合診療科は、軽い病気から重い病気、どの科を受診したらいいかわからない患者さんの初診を担当する、いわば「病院の中のなんでも屋」のような診療科です。

さて、そんな「何でも屋」で1年間働いて気が付いたことがあります。

それは、患者さんの多くは「かかりつけ医」の意味を正しく理解していないかも知れないということです。

患者さんの一部は、「かかりつけ医」を素通りして下のような理由から当科を突然受診されます。

- ・「〇〇クリニック」に通院しているけれど、もっと大きな病院で診てもらった方がいいと友人にいわれた。
- ・「△△診療所」から風邪だと言われて薬が出ているけれど、治らないから来ました。
- ・「××病院」では検査してくれないから来た。
- ・いつも通院している病院は遠軽にあって遠いから、具合の悪い今日はこっちで診てもらいたい。
- ・「◇◇医院」には薬をもらいに行っているだけだから。

これは大きな問題です。

「かかりつけ医」に通院している意味が無くなってしまいます。

「かかりつけ医」は、あなたの主治医として診断・検査をしてカルテに記録を残しています。

処方した薬の効果や副作用を判定する仕事も「主治医＝かかりつけ医」の仕事です。

過去と現在の検査結果も比べることができます。 ↗

＼そして「かかりつけ医」が「これはうちでは手に負えない病気だ。治療や検査のため専門の病院へ紹介しよう」と判断することも、実はとても重要な仕事です。

「かかりつけ医」を素通りして紹介状(診療情報提供書)も持たずに、勝手に転院してしまうことは、診療情報の欠落から大きな健康トラブルになる可能性もあります。

皆さんには調子が悪く不安な時こそ、まず「かかりつけ医」に相談して欲しいと思います。

自己判断での転院は危険です。

意味が無い同じ検査が繰り返されることもあります。

病気を診断して処方・治療をしている病院が「かかりつけ医」です。

そして緊急性の高い病気や怪我、診断が難しい病気を地域でより大きな病院が担当すれば、待ち時間が少ない効率のよい医療サービスを当院でも提供できると思います。

ご理解とご協力をお願いいたします。



## 医療技術部から

### ～リハビリテーション系の紹介～

○リハビリテーションとは  
リハビリテーション (Rehabilitation) の語源はラテン語で、re(再び、戻す)とhabilis(適した、ふさわしい)から成り立っています。

そして現在は「人間らしく生きること」や「自分らしく生きること」のために行われる全ての活動をリハビリテーションと呼びます。

その活動のために理学療法士などリハビリテーション専門職だけでなく、さまざまな職種の人たちと連携して患者様に携わっています。



○理学療法士とは  
ケガや病気で障害を持った方に対し、機能の回復や維持目的のために、運動療法や物理療法、杖の処方や、生活動作練習などお手伝いをします。

当院リハビリテーション系では、理学療法士が6名と助手1名が在籍し、主に整形外科・内科・外科からの処方を受けています。

急性期から回復期、維持期のなかで、それぞれの疾患に合った治療を行います。



### ～リハビリテーション系～

#### 変形性膝関節症による膝の痛みがある例

原因として、肥満・筋力低下・関節の変形・以前のケガ歴・姿勢や歩き方の悪さなどが考えられ、評価により原因を見つけ出し、それに対して理学療法を行います。

肥 → 食事のアドバイス、自転車エルゴメータなど。

筋力低下 → 筋力訓練。

関節の変形 → 温熱療法、関節をやわらかくする運動 (ROM-ex)、これ以上変形を進めないための体操・筋力訓練。

姿勢や歩行の悪さ → 立位・歩行時の姿勢調整・アドバイス。

その他、生活の中で痛い場面を作らないように、生活動作の工夫やアドバイス、杖の処方など行います。

こうして痛みを除去したり、軽減したりを目指します。



## 看護部から

### ～1年間を振り返って 成長できたこと～

4月から看護師として働かせていただき、約1年が経とうとしています。

その中で私たちが成長できたことは、患者様の顔を見て、患者様のお話を聴きながらケアができるようになったことです。

また、患者様が安心して処置やケアを受けられるよう心がけてきました。 ✓



＼ 働き始めた当初は、複数の患者様を受け持たせていただき複数の処置が重なったときに、何から手を付けて良いのか考えられませんでした。

勉強を積み重ね、日々たくさんの患者様に支えられながら一人前の看護師になれるよう努力してきました。

今では少し、気持ちに余裕が生まれ、患者様とお話をさせていただく時間も増えてきました。

患者様から感謝の言葉や励ましの言葉をいただき、それが励みになりました。

技術面では、初めて行う技術ばかりであり、「看護師としてやっていけるのかな」と不安に感じることもありました。

また、自分自身することに集中しすぎてしまい、患者様への声かけなどはできていませんでした。 ✓



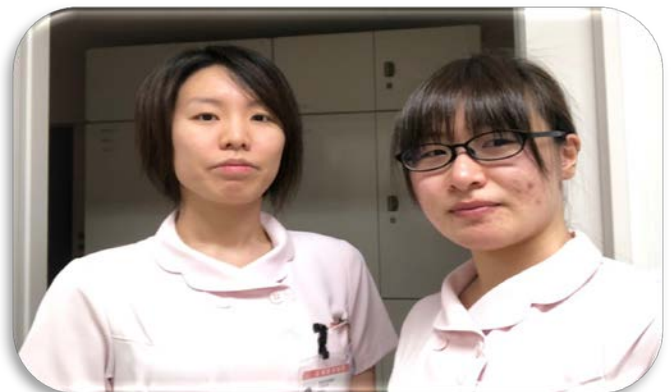
＼ しかし、多くの患者様に暖かく受け入れていただき、「失敗してもいいから！」など優しいお声かけをしていただき、失敗やたくさんの経験をさせていただいたおかげで、技術を習得することができました。

コミュニケーションでは、緊張しすぎてしまい不安なく過ごせるような声かけができていませんでした。

ですが、これまでたくさんの患者様と関わらせていただき、未だに緊張はしますが患者様が少しでも快適に過ごしていただけるよう、今では患者様の顔を見て声かけや気遣いなどできるようになりました。

患者様が安心して退院していただけるように、患者様やご家族様と共に考えていきたいと思えます。

そのためにも今後私たちは、努力と経験を積み重ねていきたいと思えますのでよろしくお願ひします。



### 『ナースこぼなし』 その18

看護師になってから1年が経ちます。看護師としても社会人としてもまだまだ未熟ですが、日々の対応について患者さまから「あなたの対応はとても丁寧で気持ちがいい、安心して任せられる」というお言葉を何度かいただきました。

自身の対応について反省と後悔することが多いのですが、何度かそういったお言葉をかけていただき、とても励みや自信につながります。

至らない点が多いですが、誠心誠意対応させていただきますので何かお気づきになりましたら遠慮なくお申し出ください。

## 病院で働く専門職

### ～ 医師事務作業補助者の紹介 ～



医師事務作業補助者  
山根 静 和

こんにちは。私は医事課医師事務作業補助者として勤務しております。

聞きなれない職種だと思いますが、業務内容についてご紹介させていただきます。

平成20年の診療報酬改定により、医師の負担軽減や役割分担を進める目的から、医師の指示の下、医療文書作成代行などの事務的作業を行う要員として、『医師事務作業補助者』という職種が新たに誕生しました。

医師が本来の医療行為に専念できるよう、医師の指示の下事務的な作業を中心にサポートしていきます。

医師や看護師等の医療関係職が医療現場における効率的な運用を妨げることなく事務作業について事務職員の積極的な活用を図り、医師や看護師等の医療関係者を本来の業務に集中させることを目的とし業務にあたらせていただいております。

医療関係職と事務職員等との役割分担については書類等に係る事務作業について診断書や診療録のように医師の診察等を経た上で作成される書類は、基本的には医師が記載することが想定されていますが医師に代わって医師事務作業補助者が記載等を代行する事で、医師の負担の軽減に努めています。

医師事務作業補助者の業務範囲については、医師の指示の下に行う補助業務であることを明確に（いわゆる、病院内の医事課で行うべき業務）し業務しております。 ↗

近年は、診察や検査の予約の管理に、いわゆるオーダリングシステムの導入を進めている医療機関が多く見られますが、当院も導入されておりその入力に係る作業は、医師の正確な判断・指示に基づいているものであれば、医師との協力・連携の下、医師事務作業補助者がオーダリングシステムへの入力を代行します。

診断書、作成については診察した医師が作成する書類ですが、医師が最終的に確認し署名することを条件に医師事務作業補助者が医師の補助として記載代行をします。

その他、書類などの整理、医療上の判断が必要ではない電話対応、各種検査の予約等に係る事務や検査結果の伝票、検査等への患者の案内など行っております。

#### 《仕事内容》

- 診断書・処方箋・紹介状の作成代行
- 診察予約・検査予約・準備依頼
- 各種保険入院証明書・介護保険意見書作成代行
- 診療録（カルテ）などの代行記載・入力
- 検査結果情報収集業務、検査・処方箋等のオーダー支援業務
- 診療、治療に関するデータ収集、管理などを主に行っております。

医療現場は毎日が真剣勝負です。患者様を通して、医師、看護師、スタッフがひとつになるチーム医療です。

その医療現場で事務サポートをする役割が『医師事務作業補助者』であると思います。

この仕事はコミュニケーションが一番大事であり医師、看護師、患者様をつなぐ大事な役割でもありなくてはならない仕事だと思います。

この仕事に携われることに誇りを持ち日々業務にあたっております。



## 「野菜も食べなさい」の真相

右の様なやり取りを経験した方も多いのではないのでしょうか。

あなたならこの後どのように答えますか？

「からだに良い」ということは分かっているけど、詳しいことはあまり分からないものですよね。

そこで今回はなぜ野菜を摂るべきなのかを解説します。

野菜もちゃんと食べなさい！



だって食べたくないんだもん！ 食べなくてもいいじゃ



野菜はからだに良いんだから食べないとダメっ！



からだに良いってなに？ どういうこと？ 食べたらどう



### 野菜の特徴

#### ❖ ビタミン・ミネラルの供給 ❖

体の中でビタミンやミネラルは三大栄養素（脂質・糖質・たんぱく質）の代謝を助ける働きをしています。脂質・糖質・たんぱく質のように、エネルギーになるものではありませんが、それがないと体という“機械”がスムーズに働かない、いわば“潤滑油”のような働きをしています。

#### ❖ 食物繊維が豊富 ❖

食物繊維は消化されずに、小腸を通過して大腸まで達する食品成分です。便秘の予防をはじめとする整腸効果だけでなく、血糖値上昇の抑制、血液中のコレステロール濃度の低下など、多くの生理機能が明らかになっています。現在ではほとんどの日本人が不足気味の成分ですので、積極的に摂取することが勧められます。

#### ❖ エネルギーや脂質が少ないので、肥満予防につながる ❖



90 kcal



野菜（400g）と  
ウインナー2本（30g）が  
同じエネルギー

#### ❖ 様々な機能性成分を含んでいるので、各種疾病のリスクを低下させる ❖



### まとめ

脂質・糖質・たんぱく質の三大栄養素にビタミン・ミネラルを加えたものを五大栄養素といいます。野菜に豊富に含まれている、ビタミン・ミネラル・食物繊維は他の食べ物からはなかなか摂取出来ません。つまり、野菜を食べないと五大栄養素のうち2つ（ビタミン・ミネラル）を摂らないこととなり、人間の体を構成する大事な栄養素のうち、2/5が不足してしまうこととなります。

「からだに良い」という以前に「からだに必要」という表現が適しているのかもしれないね。

#### 三大栄養素

ボディ = たんぱく質

安心して走るには丈夫なボディが必要です。

ガソリン = 糖質・脂質

ガソリンは、車が走るためのエネルギーとなります。ガソリンがなければ車は動きません。



オイル = ビタミン・ミネラル

オイルは車のエンジンや各パーツが正常に動くことができるように助けます。



五大栄養素

## 3・4月から着任した医師の紹介

担当科	氏名	役職	出身大学等
消化器内科	白田 智洋	診療部長	札幌医科大学 平成9年卒
趣味	映画、ドラマはそこそこ見ているので、何かあれば質問などどうぞ慣れないと市内でも迷います。		
総合診療科	大友 元	診療部長	旭川医科大学 平成16年卒
趣味	—		
海の近くに暮らせることが、ありがたく思います。お役に立てるように頑張ろうと考えております。よろしくお願ひします。			
外科	内山 素祐	医長	札幌医科大学 平成21年卒
趣味	アイスホッケー		
皆様の健康に貢献できるように頑張りたいと思います。よろしくお願ひします。			
総合診療科	佐藤 謙伍	医長	自治医科大学 平成23年卒
趣味	ドライブ 旅行		
本年度より総合診療科に参りました。花粉が少なくすごしやすいです。お気軽にご相談ください。			
小児科	今西 梨葉	医師	旭川医科大学 平成27年卒
趣味	ライブ参戦 動物雑貨収集		
なるべく早く環境に慣れ、小児科医としてお役に立てるよう励みたいと思っています。病院から見えるオーシャンビューに驚きました。至らぬ点もあるかと思いますが、何卒よろしくお願ひします。			

## 職員の募集について

広域紋別病院では看護師・助産師・准看護師・看護助手・医師事務作業補助者を随時募集しています。

募集要項の詳細は当院ホームページでご覧いただけるほか、紋別ハローワークでも求人票を掲載しています。電話でお問い合わせされる方は、下記連絡先までお問い合わせください。

〇お問い合わせ先

広域紋別病院 事務部 総務課 職員係 Tel : 0158-24-3111

病院ホームページ : <http://www.mombetsu-hospital.jp/>

### 編集後記

今号の巻頭言にあるように千賀企業長が退任され、4月から及川企業長、曾ヶ端院長の新体制となりました。これからもより一層皆様に喜ばれる病院となるよう、職員一同努力してまいります。

編集：広域紋別病院広報委員会  
発行：広域紋別病院  
〒094-8709  
紋別市落石町1丁目3番37号  
TEL・FAX 0158-24-3111  
URL : <http://www.mombetsu-hospital.jp/>